

## 双方の主張

伊豆の国市出身の北条義時が主人公の大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の関連予算を巡る問題で、これまでの経緯や議員の意見などをまとめた。

12日に開かれた市議会3月定例会最終本会議で、新年度一般会計予算案のうち、議員が提出した予算を減額する修正案が可決された。ドラマ館の設置場所を葦山時代劇場から伊豆の国パノラマパークに変更するよう提案もした。市は修正案の金額の根拠が不明確などとして、再議書を提出。22日の臨時会では、

らの復興につながる」と述べた。

予算案、原案ともに否決となり、一般会計当初予算が成立しない事態となった。

原案に賛成し、修正案に反対した議員たちは、1月末に要望書、12日に修正予算を提出

伊豆長岡地区内にドラマ館を設置すること

一方、原案に反対し、修正案に賛成した議員たちは、市の財政、市のコロナ禍での生活苦の状況などから「多額の追加予算を認める訳にはいかない」と主張した。修正案の可決は「市民の皆さんの声を反映

## 修正案 地域経済の復興先決

### 修正案 反対派 ドラマ館だけ設置を

も、予算が固まり、執行直前になってドラマ館の場所変更を求める議員たちに対して疑問を呈した。「時代劇場に設置をして、多くの経済波及効果を生むために準備を重ねてきた経済3団体をはじめとする多くの人たちのこ

当初示された大河ドラマ関連事業予算の総額は5億3千万円(3カ年計)。市は、ドラマ館の入場料収入や国交付金などを差し引いた純粋な市の負担は1億5千万円を見込んでいると説明して

す。多くの人がこのことが、新型コロナが摘した。